



今年度初の3学年が一堂に会しての行事

11月20日、21日の2日間、泉州看護専門学校「第46回学院祭」が開催されました。泉州看護専門学校は、大阪民医連の各院所・事業所で働く看護師の後継者を養成することを目的に設立された学校です。地域の皆さまには、2年前の新校舎建設にあたりまして、建設募金運動ほか、様々なご協力をいただき、本当にありがとうございました。

第46回目の開催となった今年は、「コロナ禍」での開催となり、外部の皆さまにはご案内をできませんでしたが、学生と教職員のみで、研究発表

を中心とした学院祭となりました。

今学院祭のテーマは、「心と愛はNOディスタンスでつなごう2020〜学び・楽しみ・想いやり〜」

で、実行委員会と各係の学生が中心となり、「コロナ禍で制限ある中、感染対策もしっかり行なった上で、今年度初めて3学年が一堂に会しての行事となりました。」

3つのまなごしを大事に

記念講演では、大阪民医連会長・西淀病院院長の大島民旗先生より、「コロナウイルス感染症の現状や、感染症以外の敵『不安』『ステイグマ』、コロナウイルスによる精神的加重『シヤムス』についてお話してくださいました。現状で感染が拡大する中、「3つのまなごしを大事に患者さん」に一番近い職種として、困っている人に寄り添ってほしい」というメ

「心と愛はNOディスタンス 看護でつなごう2020」

泉州看護専門学校「第46回学院祭」



ッページを込めた「新型コロナウイルス感染症拡大の中で、看護学生に求められること」をお話しいただきました。学生からも、「新型コロナウイルス感染症について大変勉強になりました。」との感想が寄せられました。

「コロナ禍を乗り越え、第47回学院祭を」

分科会やナーシングの企画でも、発表者が終了すると、使用したマイクの消毒を1回1回行なうなど、苦勞はありましたが、それにも増して学生の大きな学びの場とな



実行委員（一瞬だけマスクをはずして）

り、学生自身もこの学院祭を「できて本当に良かった」「学年を越えての交流ができたことが良かった」など、今年度初めての3学年そろっての交流に喜びを爆発させていました。

「来年度はぜひ、コロナ禍を乗り越えて、再び地域や実習院所の皆さまにもご案内させていただいて、第47回目の学院祭を開催できたら」と考えています。

皆さま方におかれましては、今後とも泉州看護専門学校へのご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

（泉州看護専門学校 事務長 番場弘樹）

吉岡篤志整形外科部長がラジオ出演
「コロナ禍でもほおっておかないで」



足の麻痺や排尿、排便障害などの症状が出現し、手術をしても改善が難しくなる場合があります。早めの診断・治療が、望ましくつなごう。

2回目、首における「ほおっしておけない症状」は、「手足のしびれや麻痺」です。腰椎と同様に、頸椎の神経が圧迫をうけている症状ですが、症状が軽い場合は、箸が持ちにくい、字が書きにくいなどの症状です。「年のせいでしょう」と、ほおっしておかれる、場合が多いです。悪化すると手足が麻痺して、ねたきりになる場合もあります。圧迫が強い場合は、手術が必要になります。頸椎の手術ときくと、不安になる方も多いですが、当院では、顕微鏡を使用し安全に手術を行っており、ご高齢な方でも可能な手術となっております。

3日目は、骨粗鬆症についてです。いずれの「ほおっしておけない症状」も当院にて、診断・治療は可能です。現状についての相談目的の紹介受診も可能です。お気軽にお問い合わせください。

す。「ほおっしておけない症状」は、「なご」というのが問題になります。骨折する前までは、特に症状がなく、日常生活では問題がないため、「ほおっしておかれる」ことが多いです。骨粗鬆症による代表的な骨折は、脊椎圧迫骨折、大腿骨頸部骨折です。圧迫骨折をおこすと背中ががったり、歩きづらく、肩こり、慢性的な腰の痛みなどが出現し、日常生活が困難になることが多いです。また、大腿骨の骨折では、統計上は、9割以上の確率で入院して手術になっています。女性では40歳以上、男性では60歳以上で、骨密度などの骨粗鬆症検査をつけることが推奨されており、最近では、骨粗鬆症の治療がかなり進歩しており、骨粗鬆症による骨折をかなり予防できるようになっております。積極的に骨粗鬆症検査を受けることをお勧めします。

耳原総合病院整形外科の吉岡篤志です。昨年12月にラジオに出演する機会を得ましたので、簡単に報告させていただきます。高齢者医療費負担増による受診抑制に加え、コロナによる受診抑制もできております。必要な定期診察・検診を受けず、重症化してから受診する人も増えてきている印象です。今回ラジオにて、コロナ禍の中でも整形外科において受診した方がよい症状、「ほおっしておけない症状（腰、首、骨粗鬆症）」について、3日間、お話しさせていただきます。

1日目、腰における「ほおっしておけない症状」は、「腰痛に伴う脚の痛み、しびれ」です。下肢の痛み、しびれがでてくる場合は、腰椎の神経を圧迫している可能性があります。脊髄管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニアの可能性があり、神経症状が悪化すると、少ししか歩けないなどの歩行障害に加え、

アルバイト募集

耳原総合病院看護助手

- 《仕事内容》 食事介助、食事配膳下膳、排泄介助、入浴介助、患者搬送、環境整備、ベッドメイキング、ごみ収集、検体運搬、薬カート運搬、物品準備など、看護師を補助する業務
- 《勤務地》 堺市堺区協和町4-465 耳原総合病院病棟・透析室
- 《時給》 1,100円 食事手当 (3,000~6,000円)、家族扶養手当あり ※いずれの手当も勤務日数など、法人規程による
- 《勤務時間》 8:00~16:00 (7時間・休憩1時間) 13:00~21:00 (7時間・休憩1時間) 勤務時間は相談可。週3日以上勤務できる方支給
- 《通勤手当》 あり
- 《連絡先》 耳原総合病院 師長室 看護助手採用担当 電話 072-241-0501 (代表) メール kangakusei@mimihara.or.jp